

禪寺雑記帳

ようやく削ることが出来ました。

◆中身が見えるまで削った4つの種を1つずつ水の入ったガラスのコップに入れて、陽当たりの良い場所に置きました。

5月上旬のことでした。

◆種はすぐに全て芽を出し、小さな丸い葉が3枚出た2週間後にそれぞれ水鉢に植え替えました。同じ条件で、しばらくはどれも同じように成長しました。

◆1か月ほど経つと、成長の度合いに差が出始めました。4つのうち2つは順調に育ち、8月の頭にはどちらも花を咲かせました。花が咲くのは翌年になると思っていたので成長の早さに驚きました。

◆1つは成長が遅いながらも少しずつ大きくなり、9月に入ってようやく立ち葉が出てきました。これは来年には花を咲かせられると思います。

◆しかし残りの1つは、小さな葉が数枚出るだけで、まだ枯れてはいないものの、成長する気配がありません。おそらく

くこの蓮は冬を越せない筈です。

◆同じ種でも、持って生まれた素質というものがあるのだなあと教えられました。

◆実はここ数年、「蓮」が男の子の名前の人気ランキング上位の常連となっていて、2018、2019、2021年はそれぞれ1位になっています。

(禅林 恭山)

◆私の寺で蓮の花が今年も沢山咲きました。蓮は汚い泥から生じるにも関わらず、泥には染まらず綺麗な花を咲かせることから、悩みや苦しみに満ちた現実の迷いの世界でも安楽の清浄な悟りの境地に至ることが出来るという、仏教を象徴する花です。

◆毎年春に蓮の植え替えをしますので、今年初めて種から育ててみました。蓮の種は外側の皮が非常に硬く、これで中身を守っている為、ただ蒔いても芽が出ることはありません。発芽させる為には外皮(種のおしりの部分)を削る必要があるのです。最初は爪切りのヤスリで削ろうとしましたが、硬すぎて全く刃が立ちません。ああこれだから大賀ハスは二千年の時を経て芽を出すことが出来たのだと実感。電動ヤスリを使ってよ

